

公式戦開催における会場でのガイドラインについて

2023.03.09 一部改訂

【参加者の対策】

(開催日当日まで)

日常の活動の中で体調に関する問題がないか、確認をしておくこと。当日を含め、体調に問題、不安のある場合は参加を見合わせる。家族に体調不良者がいる場合も同様とする。

チーム選手、スタッフだけではなく帯同審判員にも同様の確認をチームの責任の上、実行すること。
チーム保護者も同様とする。

【公式戦会場での対策】

それぞれの会場で定められている対策、対応を事前に周知して来場者が順守できるようにすること。詳細なルール等は開催日前日までに必ず会場責任チームに確認すること。

(試合前)

- ・マッチミーティングについては適切な距離をとり、マスク着用は任意とする。
- ・試合前ウォーミングアップについては各会場のアップスペースを確認し、密集になる場合には人数制限をして(先発選手のみなど)行う。

(試合開始)

- ・試合開始前に行う選手証の確認は今まで通り行う。
- ・セレモニーの際、握手は行わない。選手証チェック→入場→ベンチ側、本部側一礼→キックオフとする。
- ・ピッチ内につばや痰をはかないこと。手鼻をかむことも注意する。
- ・口に含んだ水をピッチ内に吐かないこと。
- ・飲水タイム、クーリングブレイクなどの時間を必ず設けること。
- ・飲料ボトルの共有はしないこと(各個人のボトルを用意すること)
- ・ビブス、タオルを共有しないこと。
- ・ベンチ入り選手、スタッフはマスクの着用は任意とする。
- ・熱中症対策の一環として、試合を行うベンチにはそれぞれのチームが必ずテントを用意すること。テントが用意できていない場合、会場責任チーム及び主催、主管の判断により試合を中止する場合がある。
- ・試合終了時のセレモニーは行うが、握手はしない。また、相手ベンチへの挨拶は行わない。

(応援、保護者)

- ・応援スペースでのマスク着用は任意とする。会場のルールに従わない場合は観戦不可とする。
- ・適切な距離での応援をしてもらう。(ピッチとの距離、応援者同士の距離)

(試合終了後)

- ・来場者に陽性者、感染が疑われる者が出た場合は速やかに連盟事務局に報告すること。

(合わせて)

- ・会場で出たごみは必ず持ち帰る。(マスクを捨てていくなどがないように)

※試合における詳細な部分につきましては大会要項に記載する。